



オーストラリア政府機関が IBM のサービス仮想化を活用し、 ソフトウェア・デリバリーを加速

概要

ある大手エンタープライズ・コンピューター・ハードウェア会社に関するこのケース・スタディーは、2014 年 2 月にサード・パーティー調査会社の TechValidate によって実施された「Service Virtualization and Automated Integration Testing customers」の調査に基づいています。
ここで取り扱う会社は、機密保護のために社名を非公開としています。

IBM のサービス仮想化により、自社開発のシステムでは「非常に困難」であったレベルのテストが可能になりました。

課題

オーストラリア政府機関は、次の課題に直面していました。

- テスト環境が不十分または利用不可
- テストを効果的に実施するための時間が不足

ユース・ケース

以下に示す IBM のサービス仮想化とテスト自動化を実装により、手動によるテスト手法と自社開発のテスト・ツールを置き換えました。

- Rational Test Workbench
- Rational Performance Tester
- Rational Test Virtualization Server
- Rational Quality Manager

結果

サービス仮想化のニーズおよび統合テストの自動化のニーズに対処するために、Computer Associates/ITKO ではなく IBM を選択しました。

次のメリットを実現しました。

- テストのコスト削減：10%～25%
- プロジェクトのデリバリーまでの期間短縮：10%～25%
- テスト環境のセットアップ改善：10%～25%

会社プロフィール

このケース・スタディーで取り上げた会社の要請により、ベンダーの公開はポリシーに反するとして、会社名を非公開としています。

このデータの真正性は、TechValidate 社により裏付けられています。

会社の規模：
大企業

業種：
コンピューター・ハードウェア

サービス仮想化と統合テストの自動化について

ガイダンスとソフトウェア・ツールを含む IBM の DevOps オファリングにより、企業は自社固有の運用を評価し、より高速な DevOps スタイルのワークフローを再構成することができます。

詳細情報:



原典: オーストラリア政府機関の TechValidate 調査

調査の実施 TechValidate

✓ 検証済み 発行: 2014 年 2 月 24 日、TVID: A75-468-F38